

ヴィ・アローム社及びネリー・グロジャン博士プロフィール

ヴィ・アローム社を率いる自然療法博士ネリー・グロジャン博士は、南仏プロヴァンス、アヴィニヨンとアルルの間にあるグラブゾン村生まれ。ヨーロッパにおいて初めてのナチュラルヘルスセンター「モーリン・ドゥ・ピーフ」を創立したホリスティック医学の開拓者であった整骨医の父と自然療法士の母の影響により、幼少の頃から有機栽培された植物原料から得られたエッセンシャルオイル(精油)に囲まれて育ちました。

80年代前半にアメリカに渡り、スーザン・B・アンソニー大学で自然療法の分野で博士号を取得。その後は大学院に進んで植物から得られるエッセンシャルオイルの有益性について研究を重ねたのち、南仏プロヴァンスに帰郷。自ら70ヘクタールの畑でオーガニックの植物原料の栽培にかかわる傍ら、ヴィ・アローム社を立ち上げてアロマセラピーの製品開発をスタートしました。

ヴィ・アローム社のエッセンシャルオイルは一切の添加物を含まず100%オーガニック。製品の約80%はオーガニック基準の国際的団体であるエコサートの認定を受けています。

フランスではアロマセラピーは医師が行うものと認識されており、エッセンシャルオイルは希釈したり薄めたりせず原液のまま薬のように用います。ネリー・グロジャン博士は自然療法医としてさまざまなエッセンシャルオイルを用いた健康増進、肌の若返り、病気の治療などを確立しています。

1980年代後半には、ネリー・グロジャンは博士の名を一躍有名にした12種類のアロマティックフリクションの開発に成功。このフリクションは、本来は皮膚に直につけることのできないエッセンシャルオイルを複数組み合わせることにより、単独では刺激があるものでも互いに刺激を消し合うように作用させ、肌に直につけられるエッセンシャルオイル100%のブレンド液を完成させました。さらにエッセンシャルオイルを複数組み合わせることで相乗作用を引き出し、単独で使うよりはるかに大きな効果をもたらしたのです。

12種類のフリクションは、肌の若返りブレンド、頭皮と育毛ケアブレンド、むくみ改善ブレンド、痩身ブレンドなど、目的を明確にしたお悩み対応型の処方になっています。

注: アンジェルダンのアロマティックフリクションは、ヴィアローム社の肌の若返りブレンドを原料として採用しています。

91年には香りと香水の「芳香博物館」を開設。中世の修道院の伝統的な方法で栽培されているキャレ・デ・サンプル(オーガニック栽培の薬草ハーブ園)が再現されており、現在も自ら館長を務めながら、ヴィ・アローム製品の研究開発を努めています。

また「芳香博物館」の横には、アロマセラピー製品を扱う「ヴィ・アロームショップ」、アロマセラピーの施術を行うアロマセラピーSPA「スパコクーン」などを併設しています。近年は世界的なオーガニックブームの到来により、ネリー・グロジャン博士の提唱するオーガニックライフにますます関心が集まるようになりました。生まれてから一度も抗生物質や化学的な薬品を使用することがなく、更年期もエッセンシャルオイルと生の野菜やフルーツをたっぷりとるローフードによる食事療法で乗り切っているというネリー・グロジャン博士。今後の活躍がますます期待されています。

注: ヴィ (vie) = 生きる・生命 アローム (arome) = 香り・芳香・アロマ (フランス語)

